

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

調査報告書

調査対象	イオンカードを保有する20～70代以上の男女
有効回答	408名
調査期間	2026年2月12日～2月13日
調査機関	アドバイザーナビ株式会社

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

■ 調査記事

アドバイザーナビ株式会社は、イオンカードを保有する20～70代の男女408名を対象に「イオンカードに関する実態調査」を実施しました。

今回は、カードを選んだ理由や実際の使い方、満足しているポイント・気になるポイントまで、利用者のリアルな声をまとめてご紹介します。

調査結果ハイライト

- ・メインカードとして使っている人は32.4%。残り67.6%はサブカードとして保有しており、うち53.3%は楽天カードがメインだった
- ・選んだ理由のトップは「年会費が無料」（76.0%）、次いで「イオングループでお得」（50.5%）、「WAONが便利」（32.6%）
- ・総合満足度は「満足」以上が58.9%。ただしメイン利用者は74.2%、サブ利用者は51.4%と、使い方によって評価が大きく分かれる結果に
- ・おすすめ度（10点満点）の平均は6.6点。週3回以上のヘビーユーザーは7.4点と高め
- ・月間利用金額は「1万円未満」が40.7%で最多。メイン利用者は3万円以上が53.7%、サブ利用者は12.0%

調査ハイライト | イオンカード実態調査 (n=408)



イオンカード、本当に「メインカード」で使ってる人ってどれくらい？

「最もよく使うクレジットカードはイオンカードですか？」と聞いたところ、「イオンカードがメイン」と答えた人は32.4%（132名）。一方、「イオンカード以外がメイン」と答えた人は67.6%（276名）でした。

つまり、イオンカードを持っている人の3人に2人は、別のカードをメインで使っているという実態が見えてきます。

ではサブカード派の人たちは、何をメインで使っているのでしょうか。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

サブ利用者276名のメインカードを聞いたところ、最も多かったのは「楽天カード」で53.3%（147名）。次いで「PayPayカード」7.2%、「楽天ゴールドカード」と「三井住友カード（NL）」がそれぞれ4.0%という結果でした。

楽天系（楽天カード+楽天ゴールド）だけで57.3%と過半数を占めており、「ポイント還元率重視のメインカード×イオンでお得な特定用途のサブカード」という使い分けが定番化していることがうかがえます。

現状ではメインカードにするのは難しいです。あらゆる支払いが今のメインの楽天カードになっていて、ポイントもそこに集まってきます。それを変更する手間と相当なお得感が無いと難しいです」

－ 60代・男性・サブ利用者

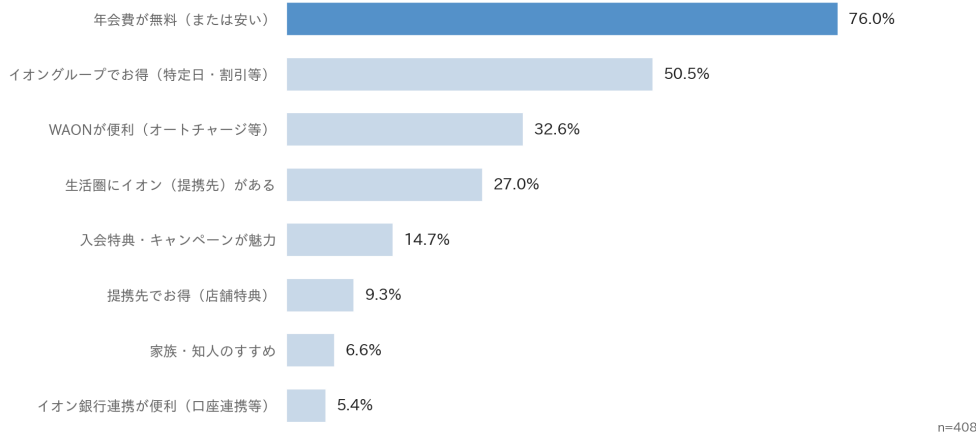
普通に利用する分には、楽天カードの方が還元率が高くポイントが貯まりやすいので、イオンカードはサブとして使っています」

－ 50代・男性・サブ利用者

ヘビー層の楽天派にとっては、イオンカードは「乗り換える」よりも「補完して持つ」存在になっているようです。

みんな何のために選んだ？選んだ理由TOP5

Q11. 選んだ理由トップは「年会費無料」76.0%



メインのイオンカードを選んだ理由を上位3つまで聞いたところ、結果は以下のとおりでした。

- ・年会費が無料（または安い）：76.0%
- ・イオングループでお得（特定日・割引等）：50.5%
- ・WAONが便利（オートチャージ等）：32.6%
- ・生活圏にイオン（提携先）がある：27.0%
- ・入会特典・キャンペーンが魅力：14.7%

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

トップの「年会費無料」が圧倒的で、4人に3人が選んでいます。次いで「イオングループでお得」が50.5%と、半数の人がイオン系列での割引・特典を理由に挙げました。

ここでメイン利用者とサブ利用者で比較してみると、「年会費が無料」はメイン79.5%・サブ74.3%、「イオングループでお得」はメイン51.5%・サブ50.0%とほぼ差がありません。つまり、選んだ理由そのものは似ていても、使い方によって満足度が変わってくるということになりそうです。

イオンで5%オフの日とか狙ってまとめ買いすると、家族の食費が結構浮くし、WAONのオートチャージでポイントが勝手に貯まるのも地味に嬉しいですね。年会費無料でこれだけメリットあるカードって、なかなか他にないと思ってます」

— 30代・男性・メイン利用者

年会費無料で維持コストがかからず、イオンでの買い物時にポイントが貯まりやすい点や、割引特典が日常的に役立っています」

— 30代・女性・サブ利用者

実際、みんな月いくら使ってる？利用金額のリアル

月間利用金額を聞いたところ、最も多かったのは「1万円未満」で40.7%。次いで「1～2.9万円」が34.1%、「3～4.9万円」が13.5%という結果でした。3人に1人が月1万円未満の利用ということになります。

ただ、ここでメイン利用者とサブ利用者を分けて見ると、利用額の傾向はくっきりと分かります。

月間利用金額	メイン利用者 (n=132)	サブ利用者 (n=276)
1万円未満	13.6%	53.6%
1～2.9万円	32.6%	34.8%
3～4.9万円	24.2%	8.3%
5～9.9万円	21.2%	2.5%
10万円以上	8.3%	0.7%

メイン利用者は月3万円以上が53.7%と過半数。一方サブ利用者は11.5%にとどまります。サブ利用者の半数以上は「月1万円未満」のライト利用ということになり、「特定の日でイオンで買い物するためだけに使う」スタイルが多いことがわかります。

利用頻度も同じ傾向で、「週3回以上使う」と答えた人はメイン利用者で22.7%、サブ利用者ではわずか5.4%。利用シーンの濃さが、そのまま満足度の差につながっていきます。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

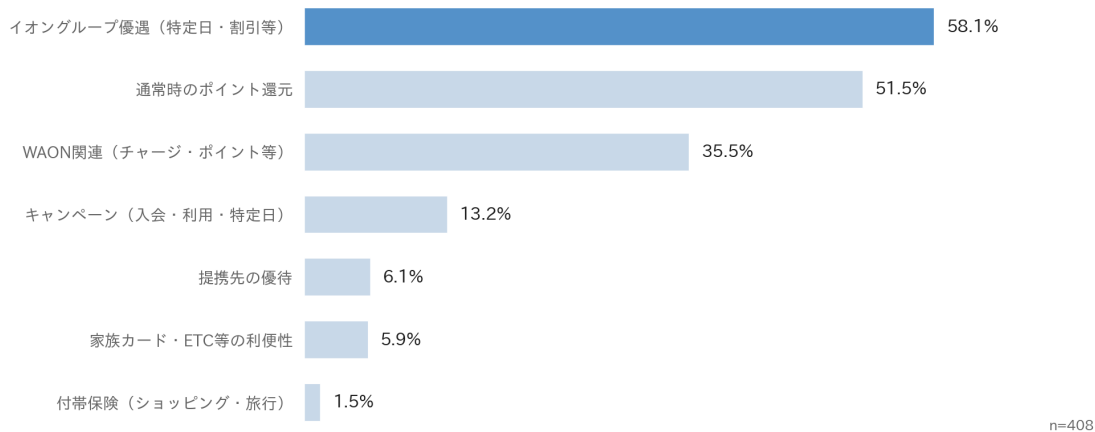
何で使ってる？支払い方法と利用シーン

主な利用シーンを聞いたところ、最も多かったのは「イオン・イオンスタイル」、次いで「イオングループ（マックスバリュ等）」、「提携先店舗（KASUMI等）」と、イオン系列での日常的な買い物が圧倒的でした。

支払い方法では「一括払い」が大多数。次いで「タッチ決済（コンタクトレス）」「WAONへのチャージ（オートチャージ含む）」「AEON Pay（イオンペイ）」が続きます。

実際に恩恵を感じている特典（複数回答可）では、以下が上位でした。

Q13. 恩恵を感じる特典は「イオングループ優遇」がトップ



- ・イオングループ優遇（特定日・割引等）：58.1%
- ・通常時のポイント還元：51.5%
- ・WAON関連（チャージ・オートチャージ・ポイント等）：35.5%
- ・キャンペーン（入会・利用・特定日）：13.2%
- ・提携先の優待：6.1%

「20日・30日のお客様感謝デーで5%オフ」「WAONポイント」といった、イオン系列に特化した特典が体感的なメリットの中心です。

イオンで5の付く日のポイント5倍の還元サービスや、20日と30日が5%OFFになるという割引の恩恵を十分に受けているように感じているため、非常に満足しています」

－ 40代・男性・メイン利用者

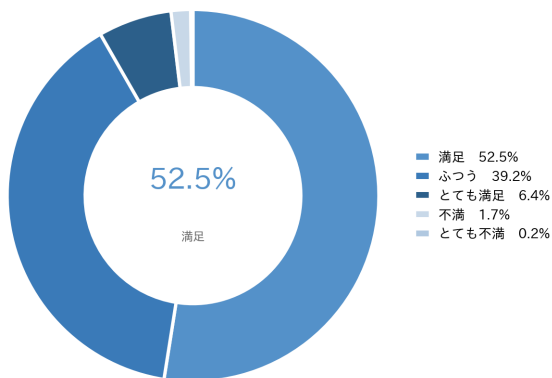
WAONのオートチャージでもポイントが貯まるので、現金でチャージする手間がなく、効率的にポイントが貯まる点に満足しています」

－ 30代・男性・サブ利用者

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

総合満足度は58.9%。ただし「使い方で評価が真っ二つ」

Q16. 総合満足度は「満足」以上が58.9%



n=408

メインのイオンカードの総合満足度を聞いたところ、「とても満足」6.4%、「満足」52.5%、「ふつう」39.2%、「不満」1.7%、「とても不満」0.2%という結果でした。「満足」以上は58.9%にのびります。

注目すべきはメイン利用者とサブ利用者の差です。

- ・メイン利用者：満足以上 74.2%
- ・サブ利用者：満足以上 51.4%

その差は22.8ptと大きく、使い方によって評価が真っ二つに分かれていることがわかります。さらに利用頻度別で見ると、週3回以上のヘビーユーザーでは満足以上が84.4%まで跳ね上がります。

「お得さの実感」も同じ構造で、週3回以上利用者では「実感する」が88.9%、月1回程度の利用者では58.6%と30pt以上の差がついています。

つまり、イオンカードは「イオン系列で頻繁に買い物する人にとっては満足度が高いが、ライト利用ではメリットを感じにくい」というカードだと言えます。

カード使い分ける手間なく、レジで即5%オフになる快感は、家計を預かる身として大きな安心感に繋がります。気づけば無料でゴールドカードへ昇格できる『お得の積み重ね』が、長く愛用したくなる最大の理由です」

－ 40代・女性・メイン利用者・週3回以上

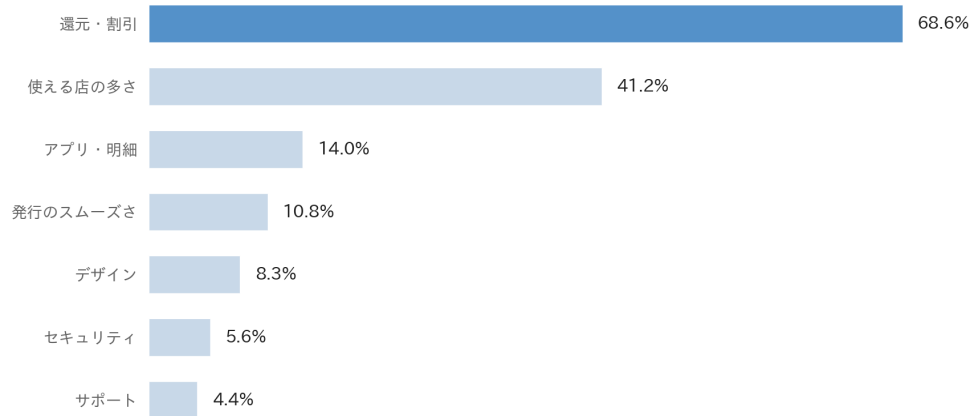
普段の何気ない買い物で使うと、ほぼ魅力を感じない。かといって、イオン系列の店も、そこまで頻繁に使わないので、感じ方としては『普通のカード』におさまっています」

－ 40代・男性・サブ利用者

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

満足している点・不満な点をセットで聞いてみた

Q17. 満足している点トップは「還元・割引」68.6%



n=408

満足している点（複数回答可）の上位は次のとおりです。

- ・還元・割引：68.6%
- ・使える店の多さ：41.2%
- ・アプリ・明細：14.0%
- ・発行のスムーズさ：10.8%
- ・デザイン：8.3%

一方、不満・改善してほしい点（複数回答可）の上位は次のとおりでした。

- ・特にない：34.1%
- ・提携先以外だと弱い：23.3%
- ・還元が思ったより高くない：19.6%
- ・特典条件がわかりにくい：13.2%
- ・キャンペーンが複雑：10.8%

「特にない」が最多なのは、ある意味で大きな不満を抱きにくいカードだということ。ただし、その次に「提携先以外だと弱い」と「還元が思ったより高くない」が続いており、「イオンの中ではお得だが外に出ると物足りない」というリアルな評価も浮かび上がります。

特に低評価層（おすすめ度1～6点・n=190）に絞ると、不満点トップは「還元が思ったより高くない」31.1%。一方で高評価層（9～10点・n=37）では同じ項目が0%という対照的な結果でした。「還元率をどう感じるか」が評価の分かれ目になっているようです。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

イオン以外のお店だと通常日は0.5%しか還元されないので限られた使い方しか出来ず、利用頻度が少ない現状なので不満に感じています。また、ポイント還元が200円での基準なので、他社より基準が高いことも不満の一つです」

－ 30代・男性・サブ利用者

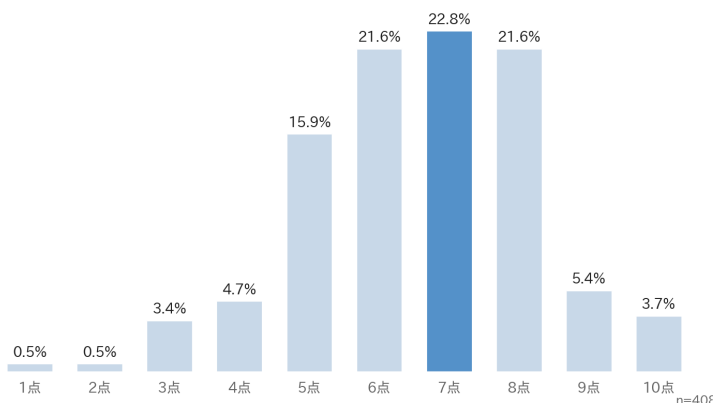
WAONポイントとWAON POINTの違いが今もよくわかっていません。同じように使えないのが不便に感じることがあります」

－ 50代・女性・サブ利用者

「特典がわかりにくい」「ポイント体系が複雑」という声は自由記述でも複数挙がっており、設計の複雑さがライト利用者の満足度を下げる要因になっている可能性があります。

友達にすすめたい？率直な評価を聞いてみた

Q31. おすすめ度の平均は6.6点、「7点」が22.8%で最多



おすすめしたい度を10点満点で聞いたところ、平均は6.6点という結果でした。

- ・ 9～10点（高評価）：9.1%
- ・ 7～8点（普通）：44.4%
- ・ 1～6点（低評価）：46.6%

最も多かったのは7点（22.8%）で、6点（21.6%）、8点（21.6%）と続きます。極端に高評価でも低評価でもない「ほどほど」の層が中心の分布です。

利用頻度別では、週3回以上利用者の平均が7.38点、月1回程度の利用者では6.02点と1.4pt近い差がついています。

その点数を付けた理由として最も多く挙げたのは「イオングループで特典が使いやすいから」（38.0%相当・155名）。次いで「還元・割引がお得だから」（24.5%相当・100名）、「WAON/AEON Pay/タッチ決済など支払いが便利だから」（10.3%相当・42名）と続きます。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

評価の理由もやはり「イオングループでの使い勝手」が中心。逆に低評価の理由としては「還元が期待より高くない」「他社カードの方が魅力的」「提携先以外だとメリットが薄い」が並びました。

イオンで使うとお得な日もあり、便利だと思います

— 40代・男性・メイン利用者

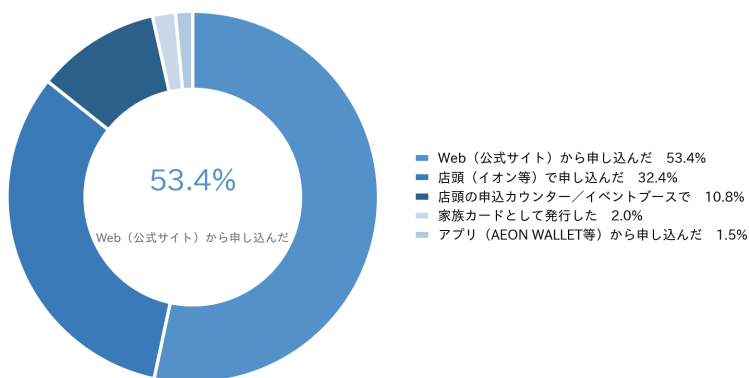
ポイント還元率は楽天カードと大差なく、大きなメリットを感じない

— 30代・男性・サブ利用者

「乗り換えたい」と強く思っているわけではないが、「もう一押し欲しい」という率直な感想が、おすすめ度6～7点という中庸な評価につながっているようです。

申込みは「Web」「店頭」が二大ルート、審査スムーズ感は95%

Q21. 申込方法は「Web」53.4%／「店頭」32.4%



n=408

イオンカードの申込方法を聞いたところ、「Web（公式サイト）から」が53.4%でトップ。次いで「店頭（イオン等）で」32.4%、「店頭の申込カウンター／イベントブースで」10.8%、「家族カードとして」2.0%、「アプリから」1.5%でした。

申込時に使った端末は、「店頭端末」37.7%、「パソコン」30.6%、「スマートフォン」29.4%とほぼ三分されています。

審査結果が届くまでの体感時間は、最も多いのが「当日中」25.5%。次いで「1～2日」20.6%、「30分以内」15.2%、「3～5日」15.0%と、即日～数日で結果が出ているケースが多数派です。

審査の「スムーズさ」については、「とてもスムーズだった」17.2%、「まあスムーズだった」47.8%、「ふつう」34.1%で、合計99.1%が「ふつう以上」と回答。「やや手間がかかった」と答えたのはわずか1.0%でした。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

申込手続きのわかりやすさ満足度も、「とても満足」13.2%+「満足」40.4%=53.6%が満足以上の評価。発行プロセスについては大きな問題が出にくい仕組みになっているようです。

イオン銀行の口座を持っているとカードの審査もスピーディーですぐに手に入るので便利

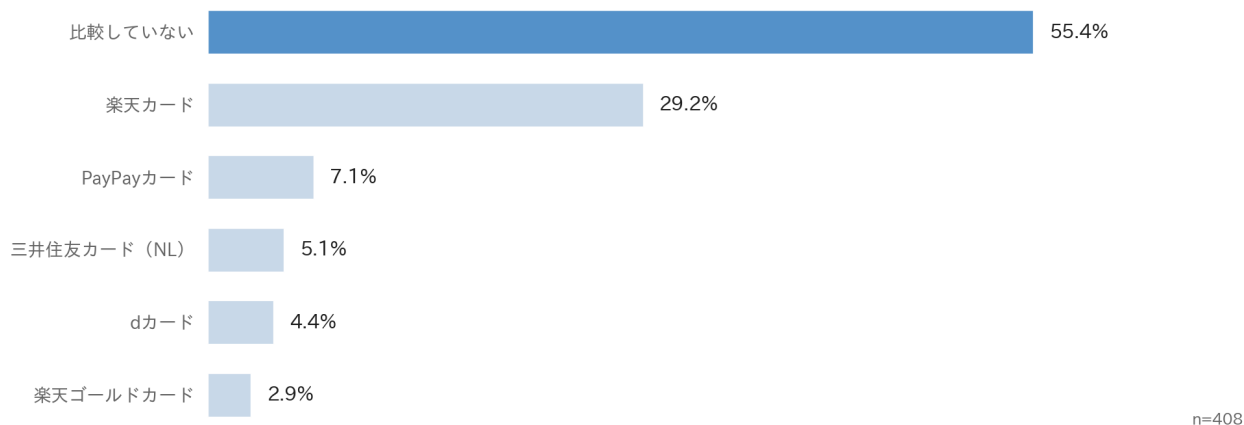
— 30代・女性・メイン利用者

フリーランスで収入が少ない私でも、スムーズに発行審査が通りました。年会費も無料です

— 50代・男性・サブ利用者

比較したカードは「楽天カード」がダントツ。比較なしも55%

Q29. 発行時の比較相手は「楽天カード」29.2%が最多



イオンカード発行時に比較検討したカードを聞いたところ、最も多かった答えは「比較していない」で55.4%（226名）。半数以上の人々が、特に比較せずにイオンカードを選んだことがわかります。

比較したカードの中で最多だったのは「楽天カード」29.2%（119名）。次いで「PayPayカード」7.1%、「三井住友カード（NL）」5.1%、「dカード」4.4%、「楽天ゴールドカード」2.9%という結果でした。

発行のきっかけは「店頭で勧誘された」（27.5%）、「Web広告・比較記事を見た」（18.1%）、「家族・友人の紹介」（16.4%）が上位。イオン系列の生活圈や広告経由で発生することが多く、「比較せずにそのまま申し込む」という流れが定着していることがうかがえます。

まとめ：イオン生活者のためのカード、それ以外には「もう一押し」が必要

今回の調査から見えたイオンカードの実態を整理すると、以下のようになります。

- ・利用者の約3人に2人がサブカードとして保有。メインは楽天カードという人が過半数（53.3%）
- ・選んだ理由は「年会費無料」「イオングループでお得」「WAONが便利」が三本柱

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

- ・満足度はメイン利用者74.2%・サブ利用者51.4%と、使い方によって22.8ptの差
- ・不満点は「提携先以外だと弱い」「還元が思ったより高くない」「特典条件がわかりにくい」
- ・おすすめ度平均は6.6点。ヘビーユーザーは7.4点と高め

イオンカードは、「イオングループで頻繁に買い物する人にとっては節約効果を実感しやすいカード」だと言えそうです。逆に言えば、生活圏にイオン系列の店舗が少なかったり、利用頻度が低い場合には、メインカードとして十分なお得さを感じにくいかもしれません。

イオンカードの種類ごとの違いや選び方が気になる方は、イオンカードの種類と選び方もあわせてご覧ください。楽天カードとの違いが気になる方は、イオンカードと楽天カードの違いが参考になります。

イオンカードセレクトとの比較ポイントは、イオンカードとイオンカードセレクトの違いと選び方から確認できます。

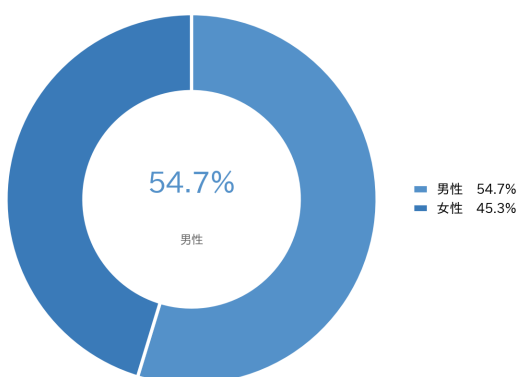
※自由記述コメントは回答者の声を一部抜粋したものであり、全回答者の傾向をそのまま代表するものではありません。

※回答内容は趣旨を変えない範囲で表記を整えています。

回答者属性

今回の調査に回答した408名の属性は以下のとおりです。性別は男性54.7%・女性45.3%、年代は40代が35.3%で最多、30～50代の中堅層が83.6%を占めました。居住地は46都道府県にわたり、東京・大阪・神奈川・愛知・北海道・兵庫・埼玉・千葉などの大都市圏が中心です。

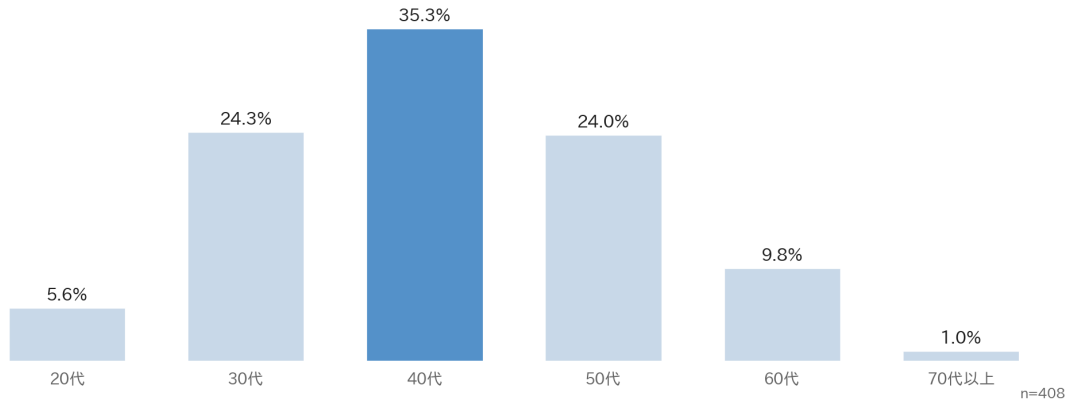
性別：男性54.7% / 女性45.3%



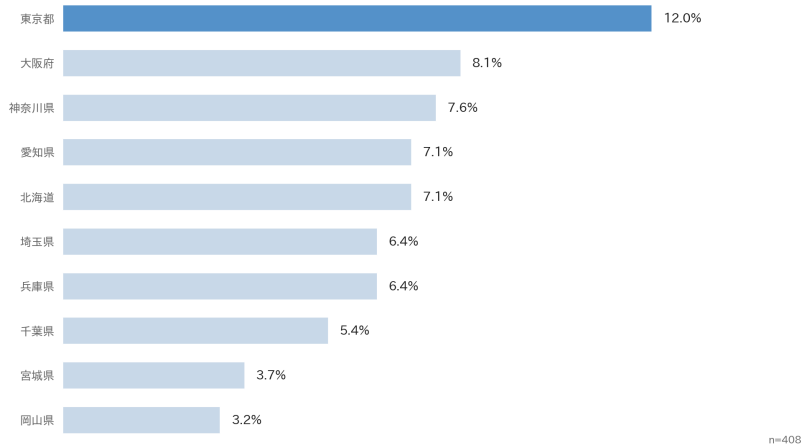
n=408

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

年代：40代が35.3%で最多、30～50代の中堅層が83.6%を占める



居住地（上位10都道府県・全46都道府県から回答）



属性	内訳
性別	男性 223名（54.7%）／女性 185名（45.3%）
年代	20代 5.6%／30代 24.3%／40代 35.3%／50代 24.0%／60代 9.8%／70代以
居住地TOP5	東京12.0%・大阪8.1%・神奈川7.6%・愛知7.1%・北海道7.1%
回答地域	47都道府県中46都道府県から回答

調査概要

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

項目	内容
調査名	イオンカードに関する実態調査
調査対象	イオンカードを保有する20～70代以上の男女
有効回答数	408名
調査期間	2026年2月12日～2月13日
調査方法	インターネットによるアンケート調査（ランサーズ）
調査機関	アドバイザーナビ株式会社

会社概要

項目	内容
会社名	アドバイザーナビ株式会社
所在地	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町8-1 FinGATE TERRACE 6F
代表者	代表取締役 平行秀
設立	2019年5月
事業内容	クレジットカード・金融サービスに関する情報メディアの運営
URL	https://adviser-navi.co.jp
本件に関するお問い合わせ	marketing@adviser-navi.co.jp

アドバイザーナビ株式会社は、クレジットカード・資産運用・FXなど金融分野の情報メディアを運営しています。特にクレジットカード領域では、カードの比較・選び方・活用法に関する情報を発信しています。

- ・クレジットカードの解説記事一覧
- ・クレジットカードの比較・選び方

引用・参照ルール

本資料は、アドバイザーナビ株式会社が2026年2月に実施した調査データをもとに作成しています。引用・転載の際は、出典名の明記のうえ、調査元データ（PDF）を参照してください。

出典：アドバイザーナビ株式会社「イオンカードに関する実態調査（2026年2月）」

調査元データURL：（PDFリンク）

※可能な場合は、会社名「アドバイザーナビ株式会社」に当社サイトURL（<https://adviser-navi.co.jp/>）の貼付もお願いします。データ・数値の改変はご遠慮ください。

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

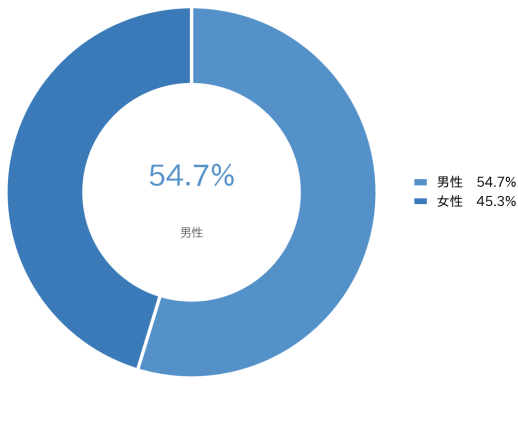
■ 調査結果データ集

全設問の集計結果をグラフ形式で掲載しています。

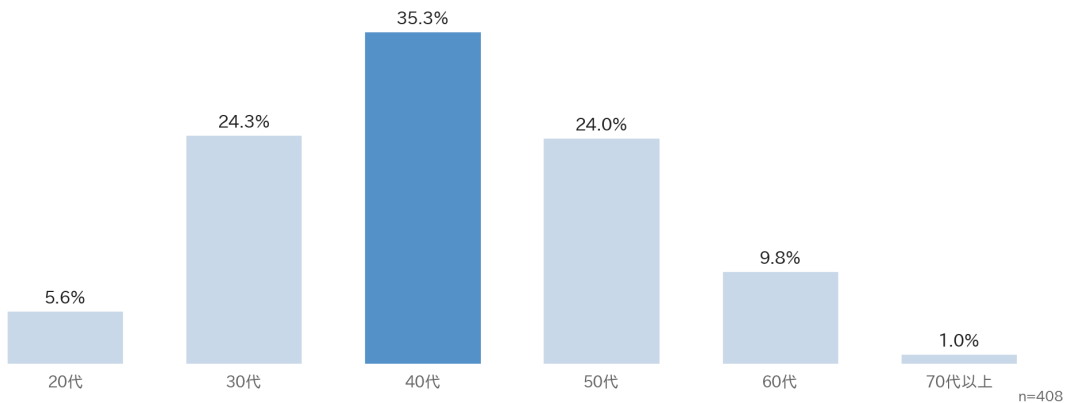
調査ハイライト | イオンカード実態調査 (n=408)



性別：男性54.7% / 女性45.3%

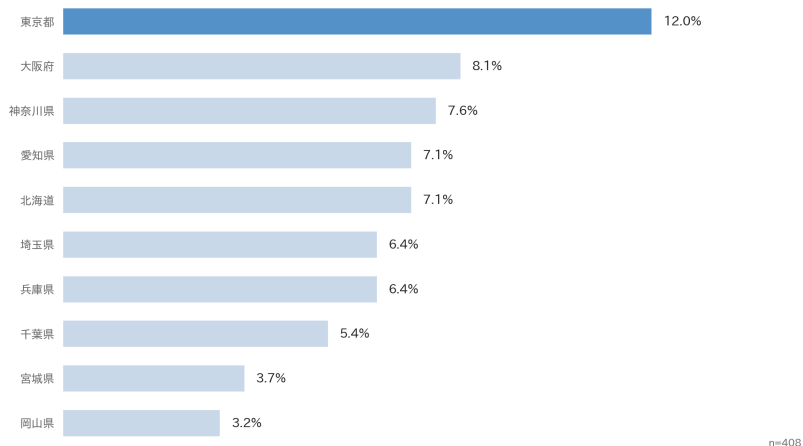


年代：40代が35.3%で最多、30~50代の中堅層が83.6%を占める

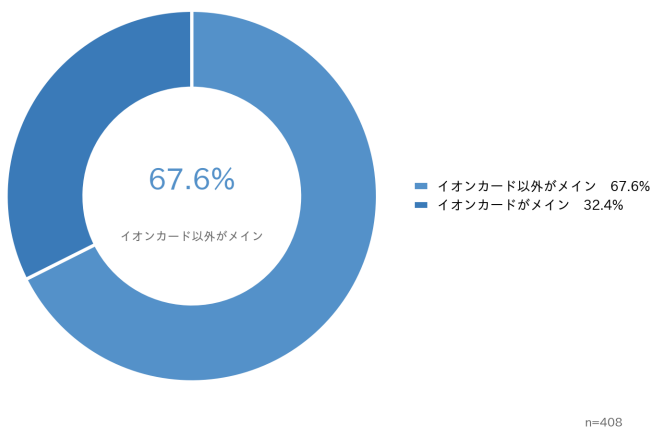


イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

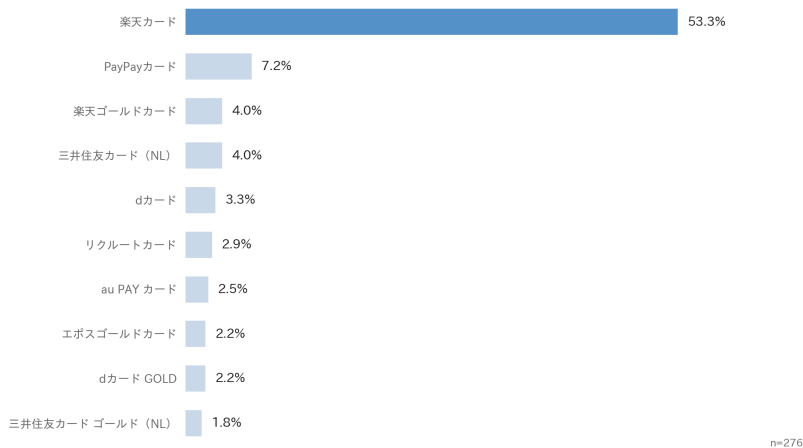
居住地（上位10都道府県・全46都道府県から回答）



Q5. イオンカードを「メイン」で使っているのは32.4%

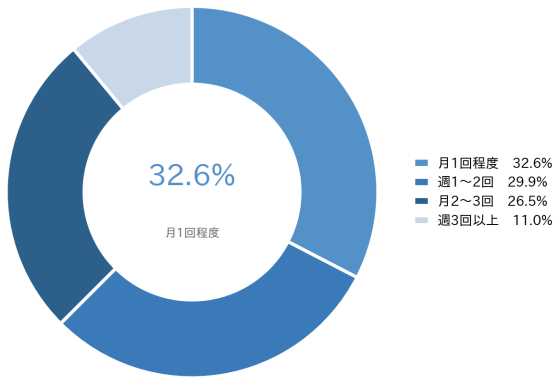


Q6. サブ利用者のメインカードは楽天カードが圧倒（53.3%）



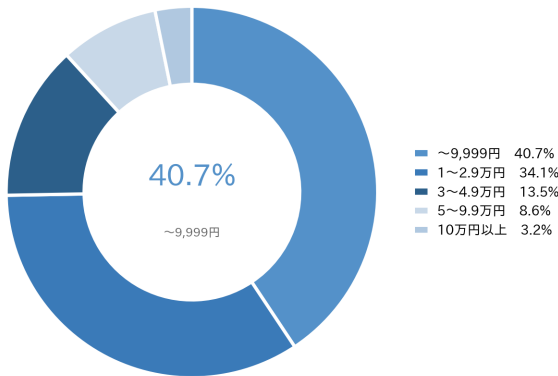
イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

Q7. 利用頻度は「月1回程度」が最多の32.6%



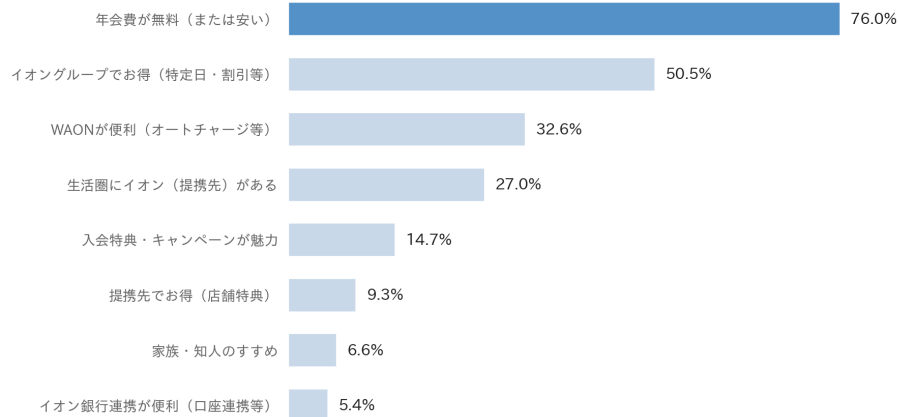
n=408

Q8. 月間利用金額は「1万円未満」が40.7%で最多



n=408

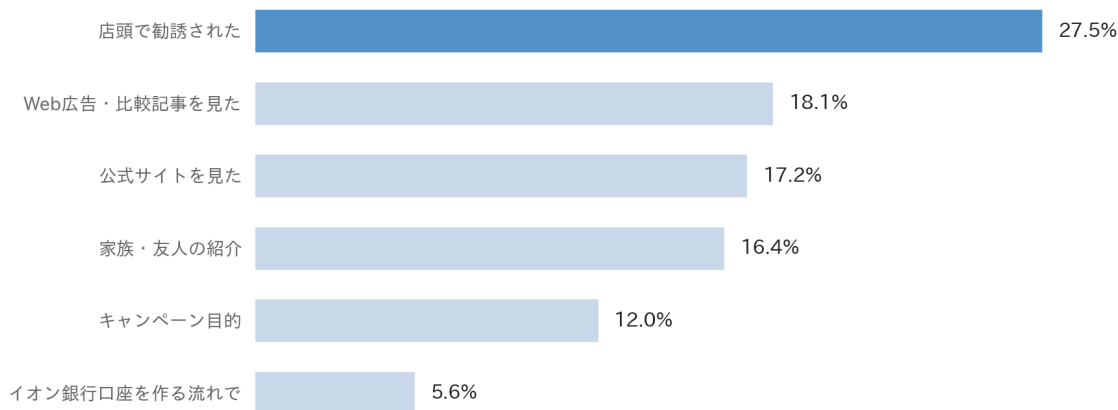
Q11. 選んだ理由トップは「年会費無料」76.0%



n=408

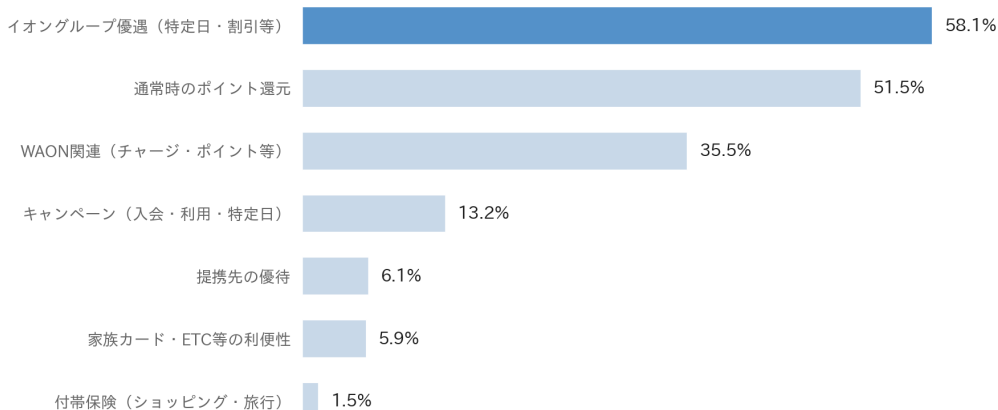
イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

Q12. 発行きっかけは「店頭で勧誘された」が27.5%



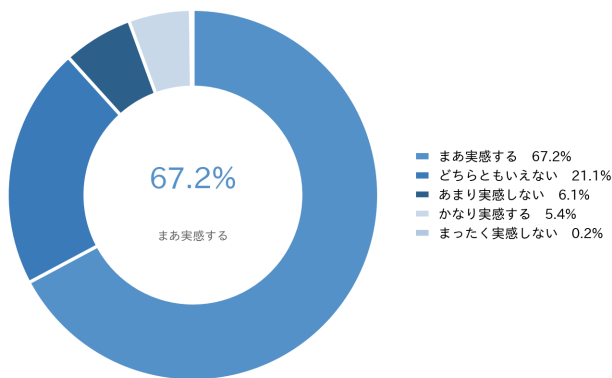
n=408

Q13. 恩恵を感じる特典は「イオングループ優遇」がトップ



n=408

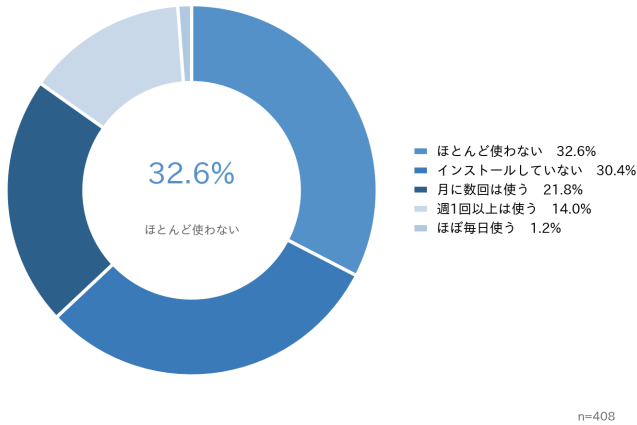
Q14. お得さ実感は「まあ実感する」が67.2%で最多



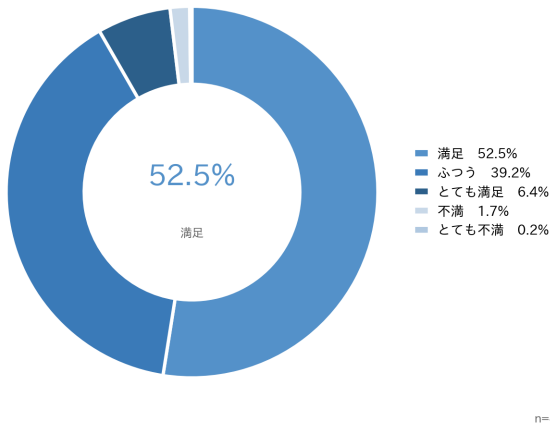
n=408

イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

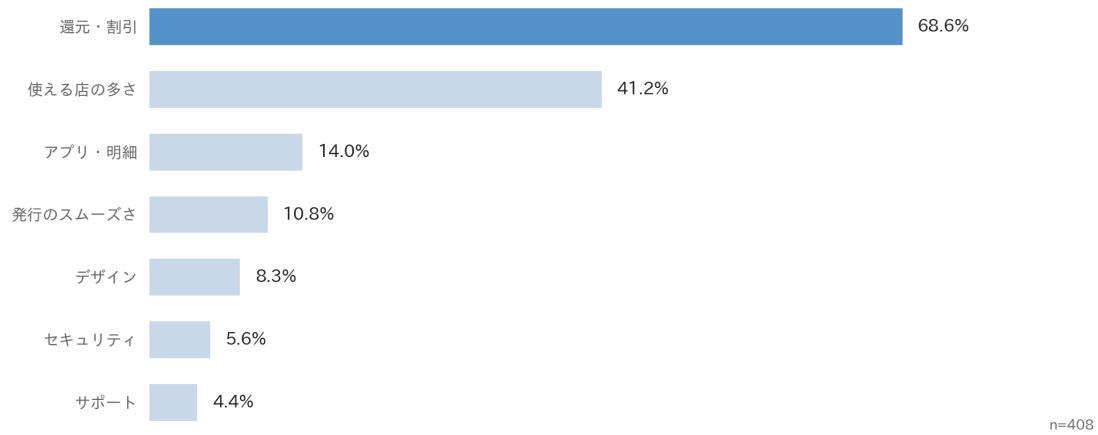
Q15. 公式アプリは「ほとんど使わない／未インストール」が合計63.0%



Q16. 総合満足度は「満足」以上が58.9%

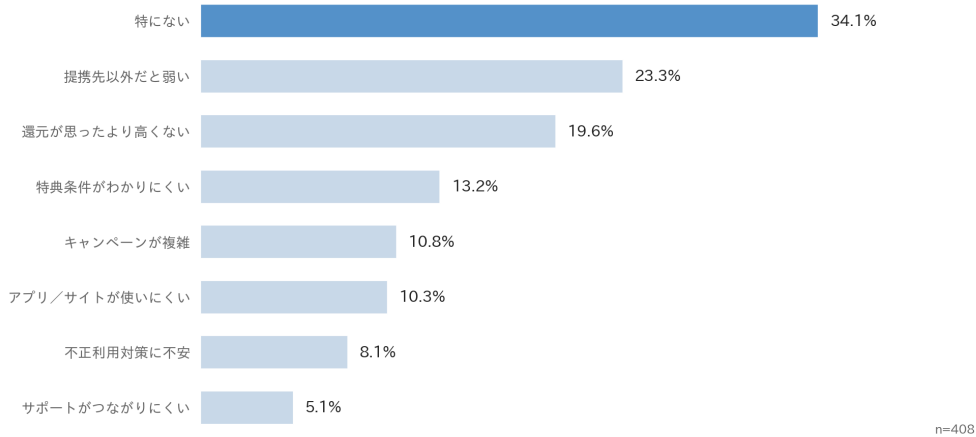


Q17. 満足している点トップは「還元・割引」68.6%

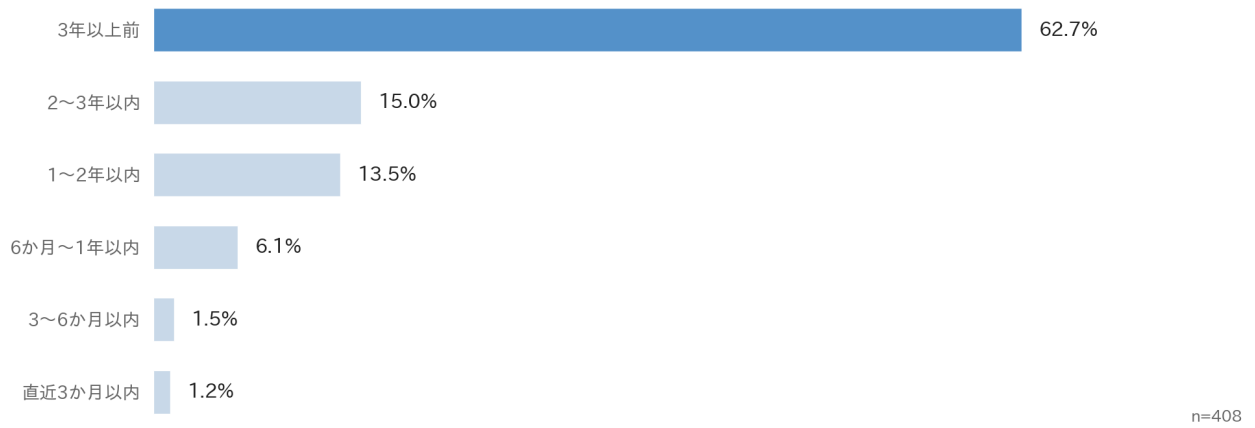


イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

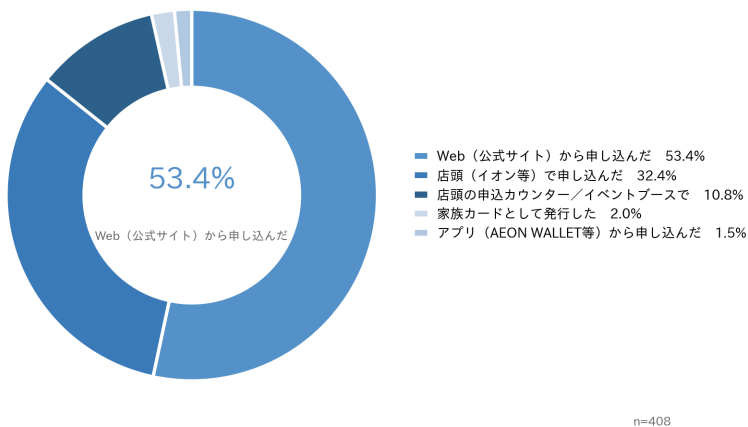
Q18. 不満は「特にない」34.1%、次いで「提携先以外だと弱い」23.3%



Q20. 発行時期は「3年以上前」が62.7%と圧倒的

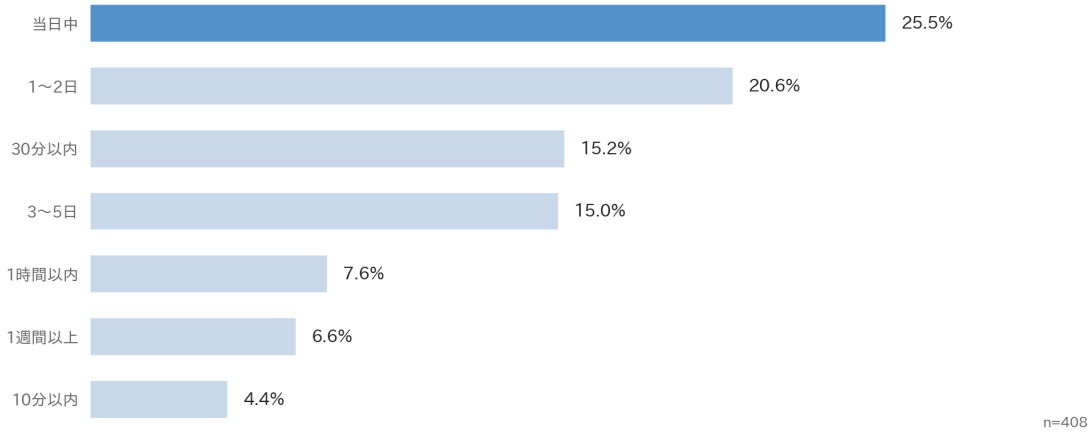


Q21. 申込方法は「Web」53.4%／「店頭」32.4%

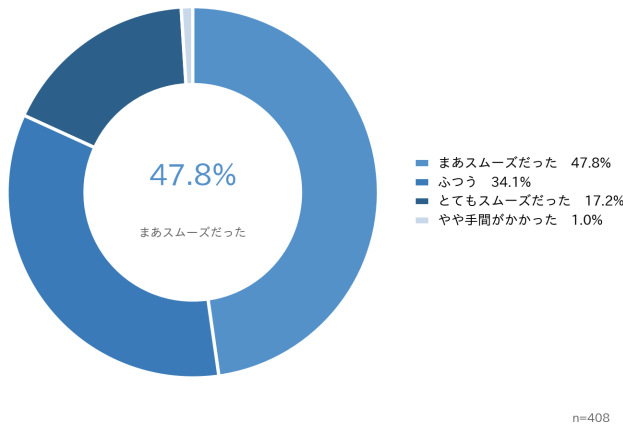


イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

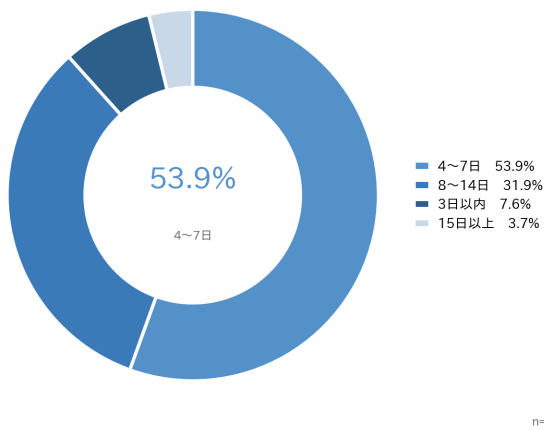
Q23. 審査結果の体感時間は「当日中」25.5%が最多



Q24. 審査のスムーズさは「スムーズ以上」が65.0%

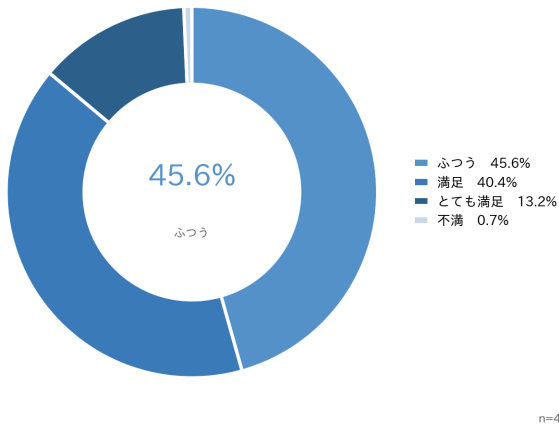


Q27. カード到着までの日数は「4～7日」が53.9%

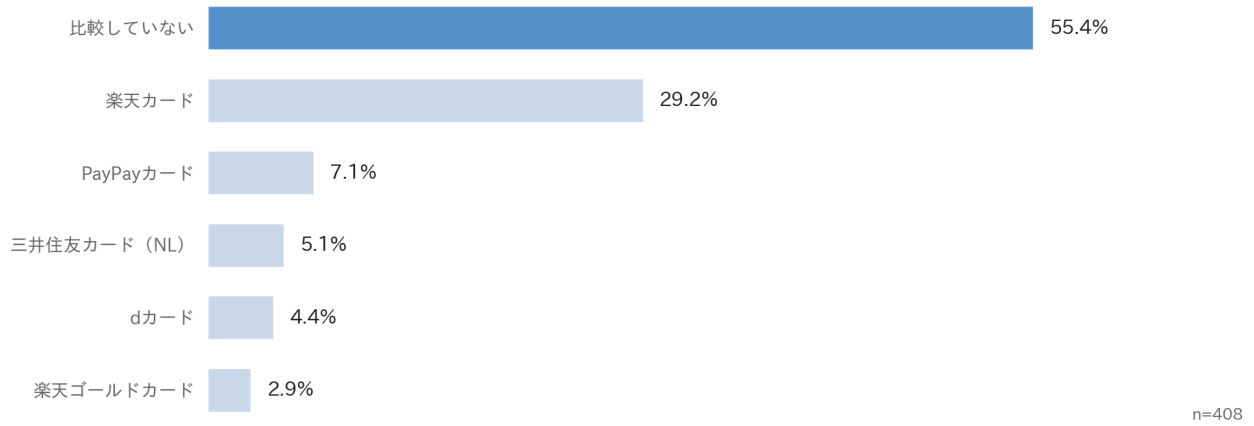


イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

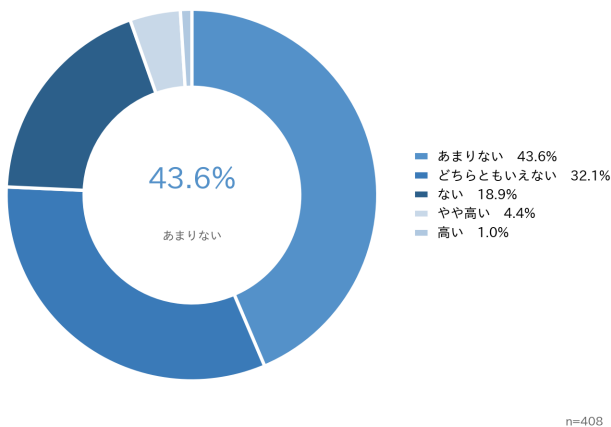
Q28. 申込手続きの満足度は「満足以上」が53.6%



Q29. 発行時の比較相手は「楽天カード」29.2%が最多

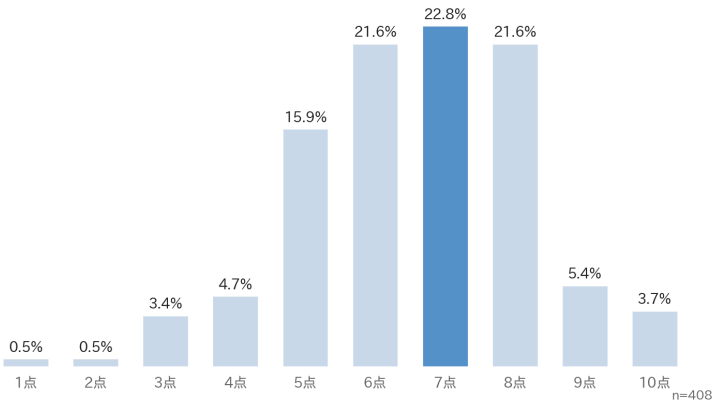


Q30. 1年以内の変更は「あまりない/ない」が62.5%

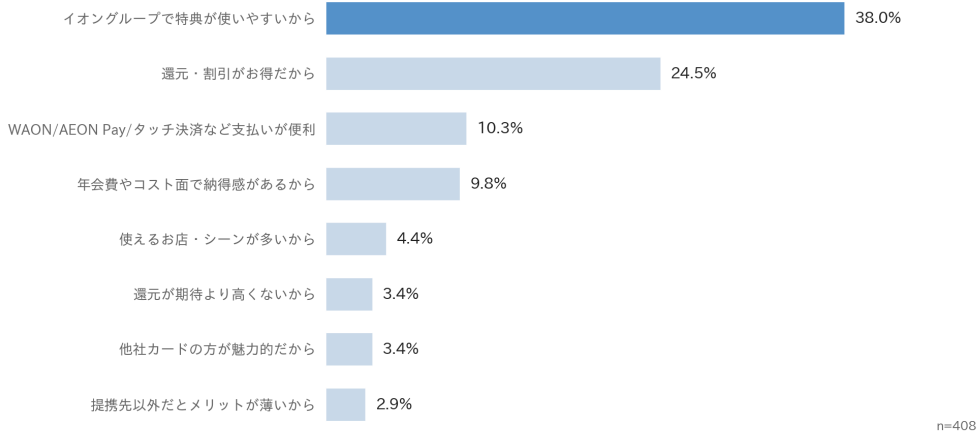


イオンカードに関する実態調査（2026年2月）

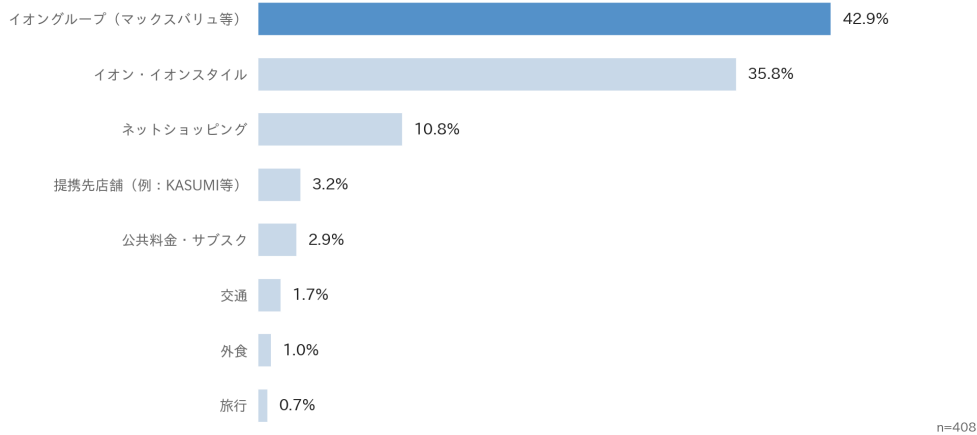
Q31. おすすめ度の平均は6.6点、「7点」が22.8%で最多



Q32. おすすめ理由TOPは「イオングループで特典が使いやすい」



Q9. 主な利用シーンは「イオングループ」42.9%・「イオン本体」35.8%



■ 引用・参照ルール

アドバイザーナビ株式会社が実施した調査データをもとに作成しています。

引用・転載の際は、出典名の明記のうえ、本PDFを参照してください。

出典：アドバイザーナビ株式会社「イオンカードに関する実態調査（2026年2月）」

URL：<https://adviser-navi.co.jp/>

データ・数値の改変はご遠慮ください。

※自由記述コメントは回答者の声を一部抜粋したものであり、
全回答者の傾向をそのまま代表するものではありません。